

## 最強の投資手法「スーパーボリンジャー」「スパンモデル」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、豪ドルドル、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、日足と週足分析に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 10 月 5 日終値時点での判断です。また、スパンモデルに関しては、注目すべきポイントだけを補足として付け加えています。尚、内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

### ■ドル円

<<<日足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格上昇トレンド継続中

○遅行スパン＝陽転継続しており、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が+1σラインの上方を推移するかぎり、本格上昇トレンドと判断。一方、終値が同ラインの下方で引けると、調整の反落局面入りする可能性が高まる。

#### ◆スパンモデル

買いシグナルが点灯継続する中、順行パターンの買いサインが点灯継続している点、引き続き、注意したい。買いシグナル点灯時の猶予期間中に付けた高値 113.45 円近辺がサポートとなる。終値ベースにて、同水準を下回ると、逆行パターンの売りサインが再点灯する点には注意しておきたい。

### <<<週足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格上昇トレンド継続中

○遅行スパン＝陽転継続しており、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が $+1\sigma$ ラインの上方を推移するかぎり、本格上昇トレンドと判断。バンド幅の拡大傾向も継続しており、依然として、トレンド性が強いと読める。

#### ◆スパンモデル

買いシグナルが点灯継続する中、買いシグナル点灯時の猶予期間中に付けた高値を終値ベースで上回って推移しており、引き続き、順行パターンの買いサインが点灯している点に注目。

#### ■ユーロドル

### <<<日足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場、本格下落トレンド入りの兆候もあり、ブル・ベアの分岐点

○遅行スパン＝陰転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝遅行スパンが陰転し続け、終値が $-1\sigma$ ラインの下方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が続くかぎり、本格下落トレンド入りの可能性が高まる点、引き続き注意したい。一方、終値が $-1\sigma$ ラインの上方で引けると、レンジ相場に戻る可能性が高まると読む。

#### ◆スパンモデル

買いシグナルの逆行パターンの売りサインが再点灯継続している点に注目。加えて、赤色スパンの逆行パターンの売りサインが点灯継続中。もっとも、逆行の売りサインの最終ターゲットである $-2\sigma$ ラインにはすでに到達した点にも注目したい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略=目先、センターラインと $-2\sigma$ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

◆スパンモデル

赤色スパンの逆行パターンの買いサインが依然として点灯継続中。加えて、売りシグナルの逆行パターンの買いサインがかろうじて点灯継続している点にも注目。

■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=上昇バイアスを伴ったレンジ相場、緩やかな上昇トレンド

○遅行スパン=陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略=目先、 $+1\sigma$ ラインと $-1\sigma$ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。尚、終値がセンターラインの上方を推移するかぎり、緩やかな上昇トレンドとも読む。

#### ◆スパンモデル

依然として赤色スパンの逆行パターンの売りサインが点灯継続している点に注目。加えて、買いシグナルの逆行パターンの売りサインが点灯継続している点にも、注目。

<<<週足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+2 $\sigma$ ラインとセンターラインの間でのレンジ相場と判断。尚、遅行スパンが陽転し、終値が+1 $\sigma$ ラインの上方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が鮮明となると、本格上昇トレンド入りの可能性が高まる点、引き続き、注意しておきたい。

#### ◆スパンモデル

売りシグナル点灯時の猶予期間中に付けた安値の上方で推移していることから、逆行パターンの買いサインが点灯継続する中、逆行パターンの買いサイン点灯時の上値ターゲットである+2 $\sigma$ ラインにもすでに到達している点に注目。

#### ■豪ドル円

<<<日足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン＝陽転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、センターラインと $-2\sigma$ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

#### ◆スパンモデル

買いシグナルの逆行パターンの売りサインが点灯継続している点、注目。

<<<週足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、依然として、センターラインと $-2\sigma$ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

#### ◆スパンモデル

赤色スパンの下向き変化時、および、売りシグナル点灯時の猶予期間中の安値を、再び、下方にブレイクしており、逆行パターンの買いサインから順行パターンの売りサインに変化している点、注目。

#### ■ポンド円

<<<日足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観＝緩やかな上昇トレンド、調整の反落局面

○遅行スパン＝陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝終値がセンターラインの上方を推移するかぎり、緩やかな上昇トレンドと判断。尚、終値が+2σラインの上方で引けないかぎり、調整の反落局面のシナリオは残る。

#### ◆スパンモデル

買いシグナルが点灯継続する中、逆行パターンの売りサインが点灯継続している点に注目。加えて、赤色スパンの逆行パターンの売りサインも点灯継続している点にも注目。

<<<週足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、+2σラインとセンターラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

#### ◆スパンモデル

売りシグナルが点灯継続する中、引き続き、逆行パターンの買いサインが点灯継続している点、そして、逆行パターンの買いサイン点灯時の最終ターゲットである+2σラインにほぼ到達している点にも注目。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<https://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<https://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。